

# 第1章 新アリーナの施設面の基本事項

## (1) 新アリーナを取り巻く状況

### ①社会的潮流

豊橋市では、豊橋市生涯スポーツ推進計画の改訂により、市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツを楽しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現に向けての基本的な考え方と取り組みの方針を示し、本市生涯スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進が図られています。ここでは、「のぼそう スポーツのまち 豊橋」を基本目標とし、多くの市民が健康づくりやスポーツに親しむとともに、スポーツを通して本市の魅力を内外に発信し、いきいきと躍動する「スポーツのまち豊橋」を目指しています。一方、プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の発足に伴い、豊橋市総合体育館をホームアリーナとする三遠ネオフェニックスがBリーグに参戦することとなったことから、総合体育館での興行試合が急増し、市民のスポーツ活動との相互利用が困難な状況となっており、新アリーナ整備に向けた機運が高まっています。

他方、平成28年2月にスポーツ庁と経済産業省は、2020年以降も展望した我が国のスポーツビジネスにおける戦略的な取組を進めるための方針策定を目的に「スポーツ未来開拓会議」を立ち上げ、スポーツ産業の振興施策について、有識者を交えて協議を行っており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（「2020年東京大会」）の開催決定等を契機にスポーツを通じた地域・経済の活性化への期待が高まりつつあるとともに、ヘルスケア・健康などの文脈でも大きな期待を集め出しています。

スポーツ未来開拓会議の中間報告によると、「スタジアム・アリーナは、スポーツを成長産業として活性化させるための核となるインフラとも捉えることができ、コストセンターから、収益を生み出し我が国の経済成長を支えるプロフィットセンターとなるポテンシャルが大きいと考えられ、新アリーナにおいては、①収益源の多様化、②興行の活発化、③利用用途の多様化、④利便性の高い立地戦略が必要である。」と指摘されており、新アリーナに収益の上がる仕組みを組み込むことにより、その収益からスポーツ振興に係る次なる投資につなげる循環をつくり出すことが期待されています。

## ②各種団体の意向

平成 29 年度予算要望にともない、各種スポーツ団体に実施したアンケートをもとに、既存の総合体育館に対する要望等ならびに新アリーナに対する意見を集約しました。また、コンベンション機能等に関する要望については、豊橋コンベンション協会からの要望をもとに意見集約を行いました。

<各種団体による意見の集約>

- ◆市民のスポーツ活動の維持・拡充を目的とした新アリーナの建設
- ◆総合体育館の設備更新
- ◆球技から武道まで多目的な利用

(主な意見)

### 【総合体育館への要望等】

#### ○新アリーナ整備への意見

- ・早期に新アリーナの建設。(平成 28 年度から B リーグ「三遠ネオフェニックス」の本拠地となり、施設利用が限界)

#### ○設備等への意見(抜粋)

- ・熱源機(冷温水発生機)の全面改修。
- ・セキュリティの充実・強化。(屋外、屋内の録画機能付監視カメラ増設・改造)
- ・第 1、第 2 アリーナ照明器具を LED 照明に取り換え。(水銀ランプ製造中止のため)
- ・その他設備のオーバーホールや備品の補修など。

### 【新アリーナ建設への要望】

#### ○豊橋バレーボール協会

- ・新アリーナを早急に建設してほしい。

**希望** バレーコート 2 面、サブ 1 面(6 人→9 人制)  
客席数メイン 150~200 席、サブ 50 席  
空調設備を設置。

- ・照明器具の LED 化。

#### ○豊橋バスケットボール協会

- ・観覧席付体育館の建設。

#### ○豊橋ハンドボール協会

- ・新アリーナを早急に建設してほしい。

**希望** ハンドボールコート 2 面以上の観客席付で空調設備の設置。

- ・第 2 アリーナをハンドボールの公式戦ができるよう改修し、空調設備の設置。
- ・既存の地区体育館の一部に公式なハンドボール競技ができるよう改修。
- ・総合体育館の利用はプロバスケットボールが最優先になっている等。

○豊橋柔道会

- ・新しい武道館の建設。

○豊橋剣道連盟

- ・新武道館の建設。
- ・試合会場6面以上、観客席あり、豊橋公園内希望。
- ・総合体育館第2アリーナにエアコンを設置。
- ・武道館進入路の拡幅と駐車場の整備等。

【コンベンション・展示機能について】

○豊橋市商工業振興課 観光振興課

(広域の見地から公設のコンベンション施設の設置に向けた設置可能性調査の実施)

- ・地元プロバスケットボール・チーム「浜松・東三河フェニックス」が来シーズンより新リーグ1部へと参入し、豊橋市総合体育館がホームアリーナとなることが決定しました。これにより、年間を通して、相当な日数がホームゲーム開催のために費やされ、本来の施設目的であるスポーツ大会だけでなく、各種イベント等の実施に支障が出ることで懸念されています。よって、広域的な視点から豊橋市及び近隣地域含む、交通利便性の高い適地に、産業見本市や各種展示会などが開催できる施設が必要であるものと考えますので、愛知県や他の東三河の各自治体とも連携協調を図るなかで、公設によるコンベンション施設の設置可能性調査の実施を要望いたします。

(多様な展示・実演等の対応を可能とする既設公共施設の運営の弾力化)

- ・地元企業や業界団体が販路開拓等を図るための見本市や展示会、各種フェアなどを開催するにあたり、既存の公設コンベンション施設を活用しようとする場合において、火気利用などの制限解除を可能とするような追加投資や運営の弾力化を図るよう要望いたします。

## (2) 他都市の整備状況

### ① 豊橋市周辺の施設事例

豊橋市を中心に県内ならびに静岡県の一部における同種のアリーナを有する施設は、20程度立地しています。主に名古屋市内の施設に集中しており、豊橋市周辺では、浜松市の浜松アリーナ、豊川市の豊川市総合体育館が立地しています。メインアリーナの席数規模では、3,000席程度の大規模な施設は、スカイホール豊田のほか、名古屋市の日本ガイシスポーツプラザのみです。

#### (豊橋市周辺の施設)

名称	所在	竣工・開館年	建築規模	面積 (㎡) メイン	観覧席数	備考
1. 豊川市総合体育館	愛知県 豊川市	1990年	塔屋2階 地上3階建	1781.04	880	2階固定席720席 1階移動席160席
2. 浜松アリーナ	静岡県 浜松市	1990年	地上3階建	2,860	4,904	固定3,544席 移動席1,360席 最大8,000人収容可能
3. 浜北総合体育館	静岡県 浜松市	2002年	地下1階建	2,006	1,070	
4. スカイホール豊田	愛知県 豊田市	2007年	地上2階建	3,600	4,450	2階固定席3,470席 1階移動席980席
5. 春日井市総合体育館	愛知県 春日井市	1986年	地上3階建	2,687	2,920	固定席2,024席 移動席896席
6. パークアリーナ小牧	愛知県 小牧市	2001年	地上2階建	2,600	2,988	2階固定席1,868席 1階可動席1,120席
7. 一宮市総合体育館	愛知県 一宮市	2010年	地上2階建	3,261.08	1994	
8. 岡崎市体育館	愛知県 岡崎市	1976年	地上4階建	2,523	6,344	観覧席2,544席 移動席3,800席
9. 常滑市体育館	愛知県 常滑市	1993年	地上3階建	2,183	800	
10. 東海市民体育館	愛知県 東海市		地上3階建	2,326.50	1,270	
11. 刈谷市体育館	愛知県 刈谷市	1969年	地上3階建	1,829	1,406	
12. 日本ガイシスポーツプラザ	愛知県 名古屋市	1987年	地下1階、 地上3階建	3,646	10,000	固定席5,000席 可動席2,000席 移動席3,000席
13. 名古屋市体育館	愛知県 名古屋市	1969年	地上2階建	1,620	908	

## ②Bリーグホームアリーナの施設事例

Bリーグのホームアリーナとなっている全国の施設事例をみると、1960年代から1990年代に整備された施設が多く、施設の老朽化や設備更新などの課題が推察されます。豊橋市総合体育館も1989年に整備されており、Bリーグの誘致に伴い、施設更新の必要性が考えられます。また、メインの観覧席をみても、2,000席～4,000席となっていますが、豊橋市総合体育館の2,000席は少ないといえます。

### (Bリーグ B1 ホームアリーナの施設)

名称	チーム名	所在	竣工・開館年	建築規模	面積 (㎡) メイン	観覧席数	備考
北海道立総合体育センター	レバンガ北海道	北海道 札幌市	1999年	地下1階、 地上2階	3,886	13,216	地下1階1,872席 1階固定席2,612席 2階固定席1,388席
仙台市体育館	仙台89ERS	宮城県 仙台市	1984年	地上3階建	2,642.59	5,705	固定席：4,681席、 可動席：1,024席
秋田市立体育館	秋田ノーザンハピネッツ	秋田県 秋田市	1994年	地上2階建	2540	3,368	固定席2,468席 ロールバックスタンド*900席
ブレックスアリーナ宇都宮	栃木ブレックス	栃木県 宇都宮市	1979年	地上3階建	1,900	2,900	収容人数2,900人
船橋市総合体育館	千葉ジェッツ	千葉県 船橋市	1993年	地下1階、 地上2階	2,357	4,368	
国立代々木競技場第二体育館	アルバルク東京	東京都 渋谷区	1964年	地下1階、 地上1階	1,300	4,167	スタンド2,877名、 可動席最大314名、 アリーナ席976名
青山学院記念館	サンロッカーズ渋谷	東京都 渋谷区	1964年	地上2階建	2,494	2,500	観客席約2,500席
川崎市とどろきアリーナ	川崎ブレイブサンダース	神奈川県 川崎市	1995年	地上3階建	2,872	6,500	1階移動席3,500席 2階固定席1,600席 3階1,400席
横浜国際プール	横浜ビー・コルセアーズ	神奈川県 横浜市	1998年		3,330	5,000	2階4,000席、 1階移動席1,000席

名称	チーム名	所在	竣工・開館年	建築規模	面積 (㎡) メイン	観覧席数	備考
シティホール プラザアオーレ長岡	新潟アルビレックスB	新潟県 長岡市	2012年	地下1階、 地上4階、 塔屋1階	2,123	2,172	
富山市総合体育館	富山グラウジーズ	富山県 富山市	1999年	地下1階、 地上3階建	2,534	4,650	固定席3,318席 可動席1,332席
豊橋市総合体育館	三遠ネオフェニックス	愛知県 豊橋市	1989年	地上2階建	3,450	3,000	1階移動席1,000席 2階観客席2,000席
浜松アリーナ	三遠ネオフェニックス	静岡県 浜松市	1990年	地上3階建	2,860	4,904	固定3,544席 移動席1,360席 最大8,000人収容可能
ウィングアリーナ刈谷	シーホース三河	愛知県 刈谷市	2007年	地上2階建	2,000	2,376	1階可動席800席 2階客席1,576席
愛知県体育館	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	愛知県 名古屋市	1964年	地下1階、 地上3階建	2,468	7,407	1階補助席3,032席 2・3階固定席4,375席
滋賀県立体育館	滋賀レイクスターズ	滋賀県 大津市	1973年	地上3階建	1,890	4,896	1階移動席3,000席 2・3階固定席1,896席
ハンナリーズアリーナ	京都ハンナリーズ	京都府 京都市	1963年	地上2階建	2,400	2,926	収容人数2,926人
府民共済 SUPERアリーナ	大阪エヴェッサ	大阪府 大阪市	1995年	地上4階建	2,720	6,942	1階1,584席 仮設席1,122席 2・3階固定席4,236席
沖縄市体育館	琉球ゴールデンキングス	沖縄県 沖縄市		地上2階建	2,160	2,115	固定・移動席2,091席、 貴賓席24席

## (Bリーグ B2 ホームアリーナの施設)

名称	チーム名	所在	竣工・開館年	建築規模	面積 (㎡) メイン	観覧席数 メイン	備考
岩手県営体育館	岩手ビッグブルス	岩手県盛岡市	1967年	地上	1,877	5,000	固定席 1,625 席 集会時 5,000 席
山形市総合スポーツセンター	バスラボ山形ワイヴァンズ	山形県山形市	1989年	地上3階建	2,200	4,386	固定席 2,946 席 収納可動席 1,440 席
郡山総合体育館	福島ファイヤーボンズ	福島県郡山市	1973年	地上3階建	2,520	7,056	2.3階固定席 2,556 席 1階椅子席 4,500 席
青柳公園市民体育館	茨城ロボッツ	茨城県水戸市	1974年	地上3階建	1,794.52	818	固定席 818 席
ヤマト市民体育館前橋	群馬クレインサンダース	群馬県前橋市	1980年		2,013.90	2,205	
板橋区立小豆沢体育館	東京エクセレンス	東京都板橋区	1968年	地上3階建	1,315	529	
大田区総合体育館	アースフレンズ東京Z	東京都大田区	2012年	地下2階、地上2階建	1,824	4,002	固定席 2,186 席 可動席 1,816 席
千曲市戸倉体育館	信州ブレイブウォリアーズ	長野県千曲市			1,503	1,600	
枇杷島スポーツセンター	Fイーグルス名古屋	愛知県名古屋市	1987年		1,620	1,750	
西宮市立中央体育館	西宮ストークス	兵庫県西宮市	1965年	地上2階建	1,710	1,344	
奈良市中央体育館	バンビシャス奈良	奈良県奈良市	1972年		2,000	5,826	1階 3,458 人 2階 2,368 人
松江市総合体育館	島根スサノオマジック	島根県松江市	2016年	地上2階建 一部3階	2,998.90	2,981	1階席 1,136 席 2階固定席 1,845 席
広島サンプラザホール	広島ドラゴンフライズ	広島県広島市	1985年	地上3階建	2,448	6,040	2階固定席 3,040 席、 可動席 3,000 席
高松市総合体育館	香川ファイブアローズ	香川県高松市	1986年	地上2階建	2,052	1,830	
熊本県立総合体育館	熊本ヴォルターズ	熊本県熊本市	1982年	地上2階建	1,814	4,334	移動 1,408 席 固定 2,926 席
鹿児島アリーナ	鹿児島レブナイズ	鹿児島県鹿児島市	1992年	地下1階、地上3階建	4,486	5,700	最大 5,700 席

### ③全国の類似事例

昨今のアリーナ建設では、前述の通り、スポーツを成長産業として活性化させるための核となるインフラとも捉える風潮にあり、民間活力の活用、多目的な利用に特化したものが見受けられます。以下に代表される事例を整理します。

【アオーレ長岡】	
所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4番地10（長岡駅と屋根付きデッキにて直結）
竣工年	2012年4月
所有者	長岡市
施設規模	市役所とアリーナ・交流ホールの複合施設 アリーナ部分は固定席2,172席 / 最大収容人数 5,000人 敷地面積 14,938.81㎡ / 建築面積 12,066.08㎡ / 延床面積 35,485.44㎡
主な特徴	<p>委託運営：有識者および地元商店街メンバー等で構成される市民交流ネットワークアオーレに運営委託</p> <p>複合施設：元来の厚生会館の機能に追加し、市役所、スポーツ施設、一般開放イベント会場などの機能を追加したことにより、幅広い年代層の交流の場として中心市街地活性化に貢献</p> <p>建設資金：建設費は合併特例債、国庫補助金で調達した他、市都市整備基金の取り崩しにて捻出（建設費131億円）</p>



①アオーレ長岡外観



②ナカドマ：吹きぬけの交流スペース



③バスケットボール興行



④地域イベント(コンベンション)

出典：わが国スポーツ産業の発展可能性とスポーツを核とした街づくりを担う「スマート・ベニユー®」資料4



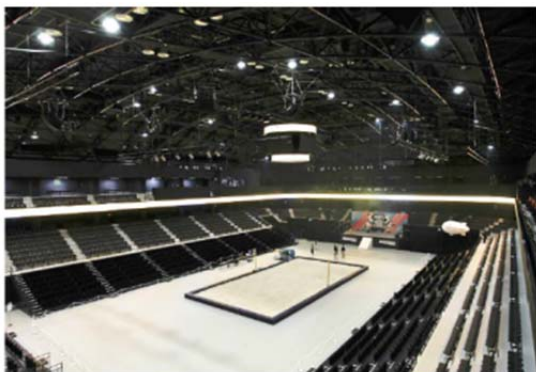
【ゼビオアリーナ仙台】

所在地	宮城県仙台市太白区あすと長町1丁目4番地10号 (仙台駅より鉄道利用で約5分、長町駅前)
竣工年	2012年2月
所有者	建物はゼビオ(株) 底地は(独)都市再生機構 (両者間で20年間の定期借地契約を締結)
施設規模	スポーツ利用時 4,000人 音楽コンサート・コンベンション利用時 6,000人 敷地面積 7,930㎡ 建築面積 約6,115㎡ 延床面積 約10,000㎡
主な特徴	<p>民設共営</p> <p>100%民間出資での建設だが、運営は地元スポーツチーム、地元マスコミ、地元企業等を含む13社による有限責任事業組合(LLP)が担う「民設共営」モデル</p> <p>多目的利用： スポーツイベントだけでなく、コンサートやコンベンションにも利用されている</p> <p>エンターテインメント性の高いアリーナ アメリカの最新鋭の映像装置、VIPルームの完備など観るための設備の充実</p> <p>ローコスト建設 オペレーション：公共施設の約1/3の費用(約30億円)で建設し、自立した運営を目指す</p>

ゼビオアリーナ仙台におけるイベント種類別開催実績  
(2012年10月～2015年11月(予定))

種類	日数	構成比
スポーツ	84	68%
(うちバスケットボール)	(36)	(29%)
コンサート	35	28%
コンベンション	5	4%
その他	0	0%
合計	124	100%

(同一日に異なる種類のイベントが開催された場合は、それぞれのイベントで日数カウントしている。また、準備・撤収作業日は含まない。)  
(出所：ゼビオアリーナ仙台HPよりDBJ作成)



出典：わが国スポーツ産業の発展可能性とスポーツを核とした街づくりを担う「スマート・ベニユー®」資料4

## (近年整備された主な事例)

名称	所在	竣工・会館(年)	建築規模	面積：メインアリーナ	観覧席数：メインアリーナ	備考
函館アリーナ	北海道 函館市	2015	地上3階建	65m×44m	2,120	最大5,000人収容
帯広市新総合体育館(仮称)	北海道 帯広市	予定	地上3階建 予定	66m×46m	3,500 予定	
大田区総合体育館	東京都 太田区	2012	地下2階 地上2階建	48m×38m	4,002	固定席2,186、 可動席1,816
エスフォルタアリーナ八王子	東京都 八王子市	2014	地上2階建	66m×45m	2,000	
高崎アリーナ	群馬県 高崎市	2016	地下1階 地上3階建	85m×42m	4,043	固定席3,021、 可動席1,022
日立市運動公園新中央体育館(仮称)	茨城県 日立市	予定	地上2階建 予定	59m×35m	2,610	固定席1,460・ 可動席1,150
このはなアリーナ	静岡県 静岡市	2015	地上2階建	82m×46m	4,000	固定席2,700 可動席1,300
草津市新市民体育館	滋賀県 草津市	予定	地上2階建 予定	49m×38m	3,000 予定	
松江市新体育館	島根県 松江市	2016	地上3階建	67m×41m	3,003	固定席1,845 可動席1,136 車いす22

### (3) 新アリーナの利用目的と施設機能

#### ①新アリーナの利用目的

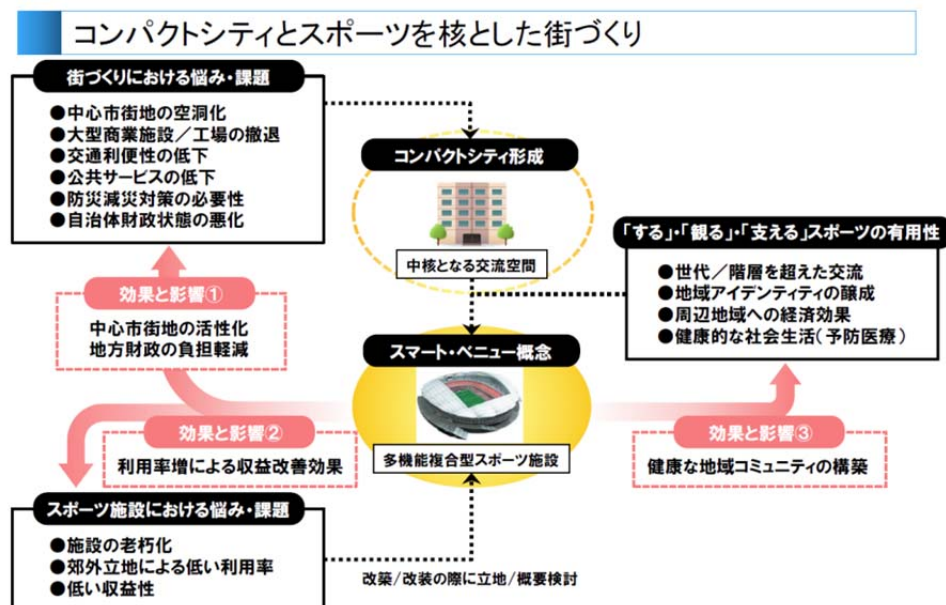
##### ◆多目的な利用目的

これまで述べてきたように、スポーツ観戦の観点だけではなく、まちづくりや地域商業の活性化が求められることから、新アリーナは、スポーツ専用の体育館ではなく、スポーツ機能、イベント機能、交流機能等を持ち合わせた多機能型複合施設として検討し、各種大会をはじめコンベンション、コンサートなどの開催により、全ての世代の市民が多目的に利用できる施設とします。

多機能性を持つアリーナの性質上、通年で誘客活動を行うことが可能となることはもちろん、スポーツや文化・芸術・産業など各分野においてそれぞれの組織が取り組み主体となり得ます。これによりスポーツに限らず様々な分野での展開を行うことで、いわゆる「\*MICE (マイス)」的な展開を進めていくことが可能となります。

##### ◆公共施設としての役割

株式会社日本政策投資銀行では、スポーツを核としたまちづくりを研究し、「スマート・ベニュー」という考え方をまとめています。この研究によると、これまで、ほとんどのスポーツ施設は、公共的な役割のもと、郊外に単機能型体育施設として建設されてきており、これに対して、今後、人口減少、少子高齢化の中でまちづくりの中核を担う施設は、スポーツの機能以外にも重要となることは明らかであるとしています。また、これからのまちづくりに必要な施設は、「多機能複合型」「民間活力導入」「街なか立地」「収益力向上」等がキーワードになるとしており、本構想においても、これらのキーワードを満たしながら、複合的な機能を組み合わせた持続可能な施設を目指すものです。



出典：わが国スポーツ産業の発展可能性とスポーツを核とした街づくりを担う「スマート・ベニュー®」  
(株式会社日本政策投資銀行)

\*MICE=MICEとは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

## ②新アリーナの施設機能

前述の新アリーナの役割と他都市の事例、B1ライセンス取得のために必要な条件を勘案し、豊橋市における新アリーナで検討すべき機能と諸室を整理しました。

機能	諸室		備考
競技 機能	アリーナ	アリーナ	・メインアリーナ床面積を 3,000 m <sup>2</sup> 程度確保。 ・アリーナは屋内球技に必要な天井高(約 18m)を確保。
		サブアリーナ	剣道、柔道等の武道が行えるほか、バレーボール等の他競技でも活用できる多目的仕様。
	更衣室		チーム別、男女別の更衣室。
	シャワー室・浴室・洗面室		更衣室、トイレ等と合わせることも可能。
	トイレ		管理者用、観覧者用との兼用も検討。
	医務室・相談室		観覧者用と兼用も検討。
	会議室・研修室		一時的に更衣室、休憩室としても利用可能。
	審判室		審判控え室としての仕様。
観客 機能	案内所		玄関・ホールの一画に設置も可能。
	玄関・ホール		休憩時の利用、退場時のたまりとして利用。
	食堂・喫茶・売店		スポーツ施設利用者以外の一般者も利用可能とする。
	一般席	アリーナ	固定：3,000席以上、可動式：2,000席以上 計5,000席以上を想定。
		サブアリーナ	固定席600席程度を確保。
	報道関係席		専用ブース、カメラの設置などに対応。
	トイレ		収容者数により個数を設定。
管理 機能	事務室・応接室		事務室から人の出入りができ、かつ、アリーナ・体育室等の監視もできることが望ましい。
	会議室		
	報道関係室		報道関係者用の諸室の必要性について検討が必要。
コン ベン ション・ 展示 機能	会議室・研修室		一時的に更衣室、休憩室としても利用可能。
	展示準備室		展示準備を行なえる機能を備える。
	備品庫・収納		展示台や展示照明、脚立や高所作業台など展示のための準備を行なう備品などを収納する。
その 他	駐車場		駐車場条例等で算定される台数を確保。
	フィットネスジム		トレーニングジムを併用することを想定。
	保育室・スポーツショップ等		スポーツ環境の利便性の向上を図る。

#### (4) 新アリーナの想定される施設規模

##### ◆プロスポーツやコンサート等の興行への対応 (5,000 席以上)

バスケットボール男子のBリーグは、1部の参入条件として「5,000 人規模の本拠地アリーナ確保」を設定しています。今後は、ホーム以外の開催やその他のスポーツ興行等においても同レベルの会場確保が想定されるため、最大席数を 5,000 席以上とした。また、5,000 席について、全て固定席の場合は、無駄なスペースが増え、維持管理コストが掛かり増しすることや観客数が少ない場合、空席の多さが目立つことが課題となっていたが、先進事例等の調査を進めた結果、現在は可動席を増加させることで課題を解決する技術が確立されており、例を挙げると全体の9割以上を収納式の可動席にし、集客人数に合わせた席数を設定することも可能となっています。必要な時に必要なだけ席を準備することで、スペースとコストの無駄を省くことができるため、席数を 5,000 席と設定し、固定席については 3,000 席程度とした。ただし、コンサート等の観覧においては仮設席(立見エリア含む)を設けることで 5,000 人以上の収容を可能とすることが必要です。

#### 想定される施設規模

##### ◆観客席 5,000 席

##### ◆駐車場 2,500 台

総勢人数 5,000 人が来場した場合を想定し、周辺駐車場の駐車率を想定し、必要台数を次のように算出しました。

乗車率 乗車率 85% (公共交通 10%、徒歩・自転車 5%)

乗用車利用者数 4,250 人 (5,000×85%)

内訳 4人乗車 10% 425人 ⇒ 107台

2人乗車 70% 2,975人 ⇒ 1,488台

1人乗車 20% 850人 ⇒ 850台 必要台数 2,445台

≒ 2,500台

##### ◆延べ床面積 約 10,500 m<sup>2</sup>…①+②+③

○アリーナ床面積 3,000 m<sup>2</sup>程度…①

※「コートエリア」の適切な設置が必要となり、「コートエリア」にはアリーナに設置される可動席・移動席、および仮設席、加えて、通路のスペースは含まれない。

《コートエリアの設定要件》

- ・試合コート (3 2 m×1 9 m)
- ・スコアラズテーブル
- ・チームベンチ
- ・ゴール器具
- ・コートサイド広告看板設置スペース
- ・フォトグラファーポジション

○客席（5,000席） 2,500 m<sup>2</sup>程度…②

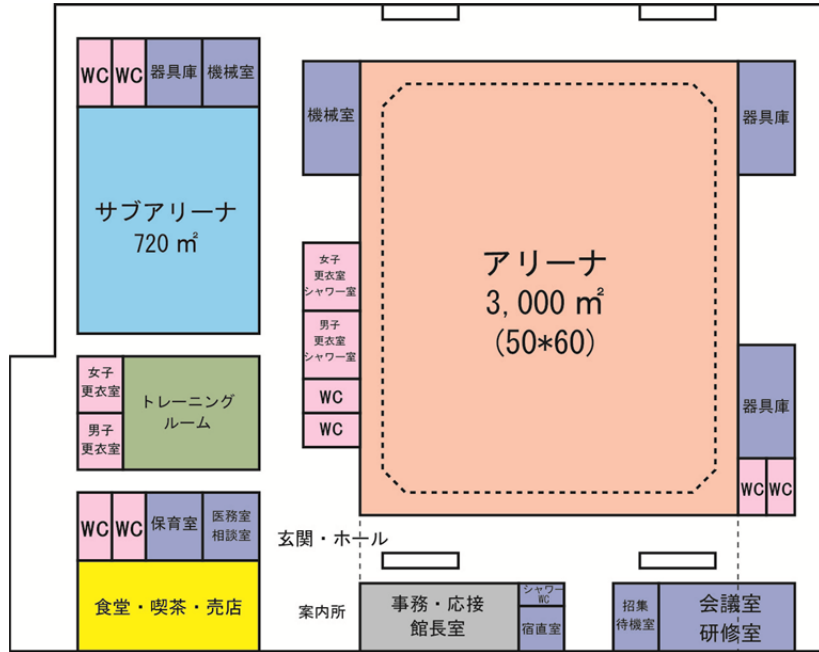
※一人当たりの滞留に必要な面積が0.5 m<sup>2</sup>と考えます

○付帯施設床面積 5,000 m<sup>2</sup>程度…③

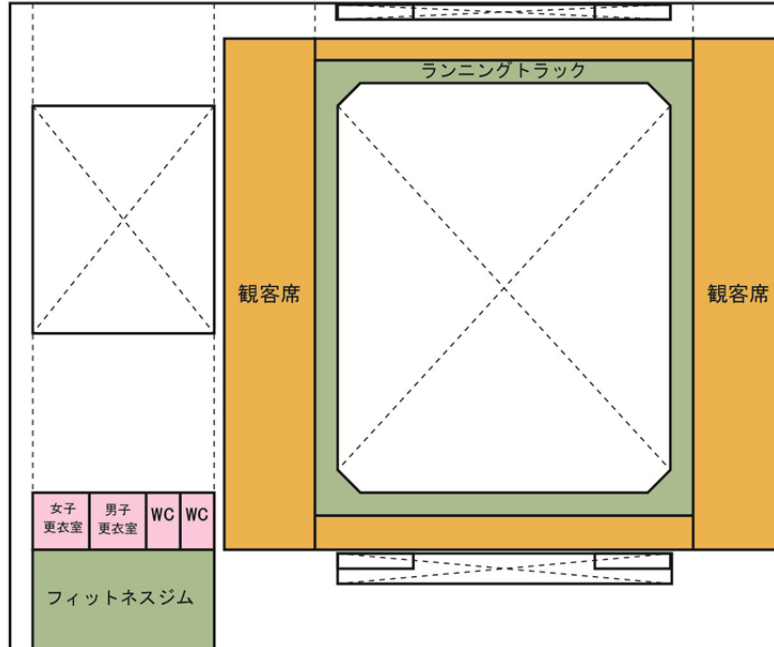
※付帯施設は、一般社団法人アリーナスポーツ協議会が発行する「アリーナ標準」に示された諸室面積を参考にアリーナでのスポーツ観戦に必要な諸室の他、コンベンションや展示会等を想定した諸室利用を想定し以下の通り規模を算定しました。

諸室		面積(m <sup>2</sup> )
競技諸室	更衣室、シャワー室・浴室・洗面室、トイレ	300
	医務室・相談室	50
	審判室	50
観覧諸室	案内所	50
	報道関係室	200
	玄関・ホール	500
	トイレ	700
	食堂・喫茶・売店	150
管理諸室	事務室・応接室・会議室	100
コンベンション等諸室	会議室・研修室 50 m <sup>2</sup> ×2 100 m <sup>2</sup> ×2	300
	展示準備室	300
	備品庫・収納	100
共用スペース		2,400
	計	5,000

<施設配置案>



1F



2F

scale 1:1000

## (5) 新アリーナの想定される事業費

(4) 床面積で示した床面積から体育施設等の整備単価から施設整備費を想定するとともに、整備に係る調査計画費、設計監理費を算定し、事業費として整理しました。

項目	金額(百万円)	備考
調査計画費	332	工事費の5%
設計費	665	工事費の10%
土地取得費	0	公共用地での整備を想定
工事費	6,200	※3,000席以上であり建築面積が10,000㎡程度のアリーナで直近に整備された事例を参考にしており、本報告書では「このはなアリーナ」を参考に試算している。 延床面積10,000㎡×62万円/㎡=6,200百万円
合計	7,647	

(参考) 工事費単価の算出：同種事例アリーナ建築費

施設名称	開館	建築費(億円)	建築面積(㎡)	建築単価(万円/㎡)	席数	アリーナサイズ
ゼビオアリーナ仙台 (宮城県仙台市)	2012	30	6,115.33	49.1	4,002	64m×38m
大田区総合体育館 (東京都大田区)	2012	68	5,825.51	116.7	4,012	48m×38m
高崎アリーナ (群馬県高崎市)	2016	109	13,145.68	82.9	4,043	85m×42m
このはなアリーナ (静岡県静岡市駿河区)	2015	60	9,701	61.8	4,000	82m×46m
松江市新体育館 (島根県松江市)	2016	59	13,549.92	43.5	3,003	67m×41m